



中原区民会議 報告書

平成二十二年二月



第2期中原区区民会議報告書の発行によせて

中原区区民会議では、「第2期中原区区民会議報告書」を作成し、平成20年度から平成21年度にかけて進めてまいりました2年間の審議と地域の取り組み内容を、区民の皆様に報告させていただくことになりました。

第2期中原区区民会議では「地域で取り組む放置自転車問題」「これからの地域コミュニティづくりを考える」「まちの魅力を見つける」の3つのテーマについて、課題解決に向けた取り組みを幅広い視点から検討してまいりました。

私たち20名の委員は、約23万人の区民の皆様の期待を負っているということを常に考えながら、地域の課題をどうすれば解決できるかということについて議論を行ってまいりました。区民会議の重要な役割は、私たち委員が、話し合った内容を地域でどのように実践していくか、また、地域の皆さまにどのように伝え、広めていくかということであると思います。現在、徐々にではありますが、区民会議をきっかけにした取り組みが地域で始まっております。

第3期区民会議においても、私たちが暮らすこの中原区がより住みやすく、笑顔あふれるまちになりますように、引き続き積極的な議論と実践がなされることを期待しております。

最後になりましたが、この2年間の会議運営に多大な御支援と御協力を賜りました、地域の皆様及び参与の皆様に感謝申し上げます。

平成22年3月19日

第2期中原区区民会議委員長

藤枝 重之



目 次

I 第2期中原区区民会議について 2

1. 区民会議とは
2. 中原区区民会議とは
3. 中原区区民会議の審議の流れ
4. 会議開催の記録
5. 専門部会の役割
 - (1)運営部会
 - (2)協働推進事業検討部会
 - (3)課題調査部会

II 第2期中原区区民会議検討テーマについて 6

1. 第1期の検討テーマ(地域課題)
2. 検討テーマ(地域課題)の選定の流れ
3. 第2期中原区区民会議検討テーマ(委員案)

III 検討テーマ(地域課題)の審議と取り組みについて 8

検討テーマ①「地域で取り組む放置自転車問題」

- 課題解決に向けた取り組み事項
- 課題解決に向けた地域の取り組み
- 区民と行政の協働による取り組み

検討テーマ②「これからの地域コミュニティづくりを考える」

- 課題解決に向けた取り組みの検討
- 課題解決に向けた取り組み事項
- 課題解決に向けた地域の取り組み
- 区民と行政の協働による取り組み

検討テーマ③「まちの魅力を見つける」

- 中原区区民会議委員があげた魅力ポイント
- 課題解決に向けた取り組み事項
- 区民と行政の協働による取り組み

委員名簿

I 第2期中原区区民会議について

1 区民会議とは

川崎市では、市民の参加と協働によって暮らしやすい地域社会を築いていこうという考えのもと「川崎市自治基本条例」を制定（平成17年4月1日施行）しました。区民会議は、この条例が目指している「市民自治によるまちづくり」を進めるために平成18年4月から市長の附属機関として各区に設置されました。地域の課題を区民が主体となり地域で解決するための方針及び方策についての審議を行います。

2 中原区区民会議とは

中原区区民会議の委員は、地域で様々な活動をしている団体からの推薦や、公募、区長推薦により選考された総勢20人。会議で検討された結果を地域や団体に持ち帰り、課題解決のための取り組みを広めています。

第2期目を迎えた中原区区民会議では、平成20～21年度の2年間で「地域で取り組む放置自転車問題」「これからの地域コミュニティづくりを考える」「まちの魅力を見つける」の3つのテーマについて議論し、中原区に住む人々が暮らしやすく、笑顔があふれるまちづくりを目指して、地域の課題解決に向けた取り組みを行いました。



3 中原区区民会議の審議の流れ

区民会議の検討テーマ（地域課題）の審議の流れは次のイメージ図のとおりです。

①検討テーマの選定

地域が抱えている様々な課題について、区民会議委員が日々の活動を通して検討する必要があると考える課題、区役所が業務を通じて把握した課題、区民から寄せられた課題の中から、緊急性や重要性を勘案して運営部会で選定します。

②検討テーマに関する現状及び課題の把握

検討テーマとなった事項について、地域で具体的に行われている取り組み等を手掛かりに、そのテーマの現状や克服すべき課題等の調査を行い、検討用資料等を作成します。

③区民会議における審議、検討

現状や課題の調査や資料などに基づいて、課題の解決策や地域での取り組みの在り方などを検討します。

④地域社会での取り組み

会議での検討を踏まえて、委員及び区役所は課題解決に向けた取り組みを推進します。

4 会議開催の記録

区民会議（全体会議）

【平成20年度】

- 第1回 平成20年7月16日(水)
「第2期中原区区民会議で取り上げる検討テーマについて」
- 第2回 平成20年10月9日(木)
「地域で取り組む放置自転車問題」
- 第3回 平成21年1月20日(火)
「地域で取り組む放置自転車問題」
- 第4回 平成21年3月19日(木)
「これからの地域コミュニティづくりを考える」

【平成21年度】

- 第1回 平成21年7月10日(金)
「これからの地域コミュニティづくりを考える/第2期中原区区民会議検討テーマについて」
- 第2回 平成21年10月8日(木)
「まちの魅力を見つける」
- 第3回 平成22年1月14日(木)
「まちの魅力を見つける」
- 第4回 平成22年3月19日(金)
「第2期中原区区民会議を振り返って」

専門部会（役割部会の役割: 4㉮参照）

運営部会

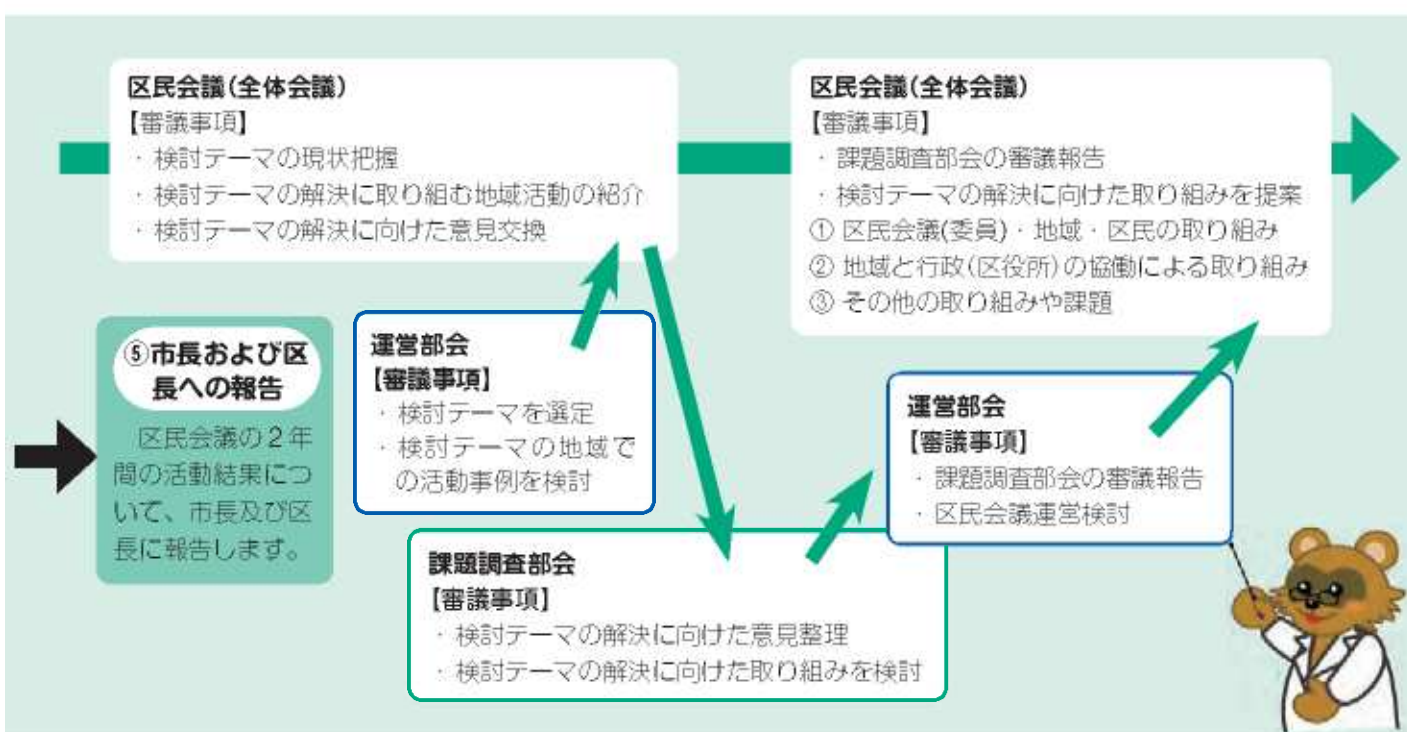
- 【平成20年度】第1回：平成20年8月5日(火)
第2回：平成20年12月9日(火)
第3回：平成21年3月9日(月)
- 【平成21年度】第1回：平成21年6月2日(火)
第2回：平成21年9月7日(月)
第3回：平成21年12月21日(月)
第4回：平成22年2月17日(水)

協働推進事業検討部会

- 【平成20年度】第1回：平成20年9月17日(水)
- 【平成21年度】第1回：平成21年7月22日(水)
第2回：平成21年9月24日(木)

課題調査部会

- 【平成20年度】第1回：平成20年11月7日(金)
第2回：平成20年11月27日(木)
- 【平成21年度】第1回：平成21年4月24日(金)
第2回：平成21年11月13日(金)



I 第2期中原区区民会議について

5 専門部会の役割



専門部会は、区民会議の調査・審議をより専門的に、また機動的に行う必要がある場合などに設置し、区民会議から付託される事案の調査・検討を行うものです。

第2期中原区区民会議では、幹事会的な役割を持つ「運営部会」と区の協働推進事業の評価・検証を行う「協働推進事業検討部会」を第1期に引き続き設置し、さらに、区民会議での議論をより効果的に解決に向けた取り組みに発展させるための補完的な役割を果たす専門部会として「課題調査部会」を新たに設置しました。

(1) 運営部会

ア. 設置目的

区民会議の円滑な運営を図るため、区民会議で取り組む地域課題を選定し、会議の具体的な運営等について調整を行うことを目的とします。

イ. 構成員

委員長及び副委員長（2名）を含め6名程度

ウ. 開催時期

区民会議の開催時期にあわせて適宜開催します。

エ. 主な審議内容

- ・区民会議で取り組む地域課題について検討を行います
- ・次回区民会議次第及び運営方法について検討を行います
- ・報告書のとりまとめ及び広報について検討を行います



〈運営部会の審議の流れ〉

運営部会

【審議事項】

- ・区民会議で審議する検討テーマを選定
- ・区民会議の運営や広報について検討



運営部会の審議結果を
区民会議に報告する

区民会議

【審議事項】

- ・検討テーマの現状把握
- ・検討テーマの解決に向けた意見交換

区民会議メモ①

「区民会議だより」

中原区区民会議では、広報紙『なかはら区民会議だより』を年4回、区民会議の開催にあわせて発行しています。この広報紙は、区民会議の審議や取り組みの様子を広く区民に伝えようと、第2期から作成を始めました。中原区役所企画課窓口などでの配布のほか、区内の町内会・自治会を通じて各戸に回覧しています。



2) 協働推進事業検討部会



ア. 設置目的

中原区協働推進事業について、事業の実施結果と実施計画などに対して、区民会議としての評価・検証を行うことを目的とします。

イ. 構成員 6名程度

ウ. 開催時期 7月及び9月頃（年2回程度）

エ. 主な審議内容

- ・前年度の中原区協働推進事業の実施結果に対して、区民会議としての評価・検証を行います
- ・次年度の中原区協働推進事業の計画に対して、区民会議としての意見を述べます

《協働推進事業検討部会の審議の流れ》



区民会議メモ②

「協働推進事業」

区では、区民の参加と協働により、地域社会が抱える課題の解決に取り組むため、「協働推進事業」を企画・実施しています。

協働推進事業の対象事業

- ・地域の特性を活かした区づくりを、区と区民が協働して推進する事業

- ・地域の身近な課題や緊急的なニーズに、区が主体的かつ迅速に対応し解決を図る事業
- ・複数の分野にまたがる地域社会の課題を、区が地域の視点から解決するため、区自らの裁量・創意工夫により総合的・横断的に判断し、効率的・効果的に執行する事業
- ・その他、協働推進事業の目的を達成するために必要な事業

3) 課題調査部会



ア. 設置目的

区民会議において検討された地域課題について、課題解決に向けた取り組みを効果的に行うために、地域課題に関する必要な情報収集や調査を行うなど、

区民会議の審議を補完する役割を担うことを目的とします。

イ. 構成員 6名程度

※構成員については、検討テーマの内容によって、適宜、部会委員を選出するものとします。

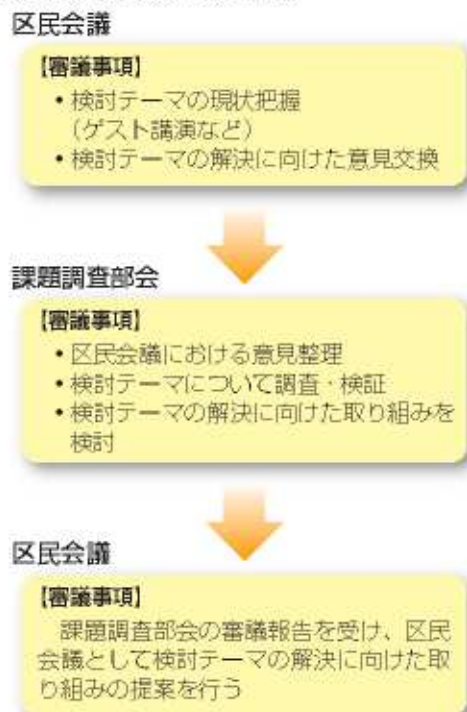
ウ. 開催時期

区民会議の開催時期にあわせて適宜開催（年間2～3回程度）します。

エ. 主な審議内容

- ・区民会議で取り組む地域課題について調査や検証を行います
- ・区民会議における委員の意見を整理して課題解決に向けた具体的な取り組みの検討を行います

《課題調査部会の審議の流れ》



Ⅱ 第2期中原区区民会議 検討テーマについて

1 第1期検討テーマ(地域課題)

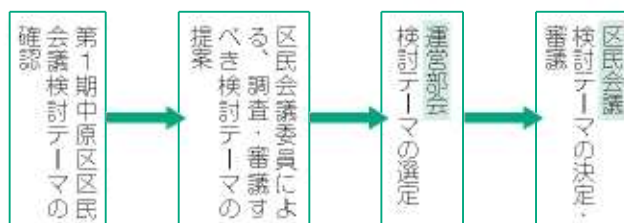
第1期では次のテーマについて審議しました。

- ・「地域で支える高齢社会」
- ・「地域の安全・安心をどう守るか」
- ・「地域の中の商店街」
- ・「地域に参加し、地域に学ぶ」
- ・「地域で取り組む環境対策」

※審議の内容は、区ホームページ及び第1期報告書でご覧になれます

2 検討テーマ(地域課題)の選定の流れ

第2期では、次の手順で検討テーマを決定し審議を行いました。



3 第2期中原区区民会議検討テーマ(委員案)

委員が提案した検討テーマを紹介します。

(1) 防災又は地域交通環境の向上など 安全で快適な暮らしを支えるために

【自転車問題(9委員提案)】

- ・東急東横線新丸子駅周辺の放置自転車対策(川連委員)
- ・放置自転車のみならず自転車のマナーを徹底していく教育の拡大方法の検討(鈴木委員)
- ・放置自転車対策について(辻委員)
- ・武蔵小杉駅周辺の公共駐輪場設置計画と放置自転車対策について(内藤委員)
- ・放置自転車やたばこのポイ捨てなど日常生活のマナー向上について(芳賀委員)
- ・小杉駅、元住吉駅周辺の駐輪場不足、自転車利用者のマナーの問題(藤嶋委員)
- ・自転車の新しい通行ルールや正しい乗り方を学び、区民へのマナーアップを啓発する(松本委員)
- ・自転車走行時のマナーについての検討(矢野委員)

【地域防災(4委員提案)】

- ・災害時の防災、減災及び要援護者支援のネットワークをどう進めて行くか(杉野委員)
- ・防災、避難所運営について(竹井委員)
- ・災害時一人も見逃さない運動について(富岡委員)
- ・学校校舎の耐震化及び災害時の避難所としての使用における課題について(松原委員)

【安全・安心のまちづくり(1委員提案)】

- ・犯罪予防について(安全安心のまちづくり)(富岡委員)

(2) 福祉の推進、健康の増進など 幸せな暮らしを支えるために

【健康づくり(1委員提案)】

- ・地域でのスポーツ、健康づくり(宮本委員)
- ・高齢者の健康生活をどう支えるか(宮本委員)

(3) 子育て、教育など 人を育て心をはくくむために

【子どもの健全育成(4委員提案)】

- ・自ら考え行動もでき、やさしい思いやりがある子どもを育てたい(大下委員)
- ・小中高生の健やか育成関連(竹井委員)
- ・地域の子どもの健全育成について(富岡委員)
- ・子どもの健全育成(ほめることによる育成など)(芳賀委員)

【子育て支援(3委員提案)】

- ・子ども達がのびのび安心して遊べる場所づくり(大下委員)
- ・子育て支援について(川崎市の待機児童率を踏まえた上で何が出来るのか)
→就業支援も含む(本目委員)
- ・認定こども園について(松原委員)

【学校との連携(1委員提案)】

- ・学校との連携交流、あいさつ運動について(富岡委員)

【子どもの安全(1委員提案)】

- ・携帯サイトの現状(被害)と対策について(松本委員)

(5) 産業の振興、都市拠点の形成など まちの活力を高めるために

【企業の社会貢献(1委員提案)】

- ・企業の社会貢献と地域社会のあり方
(宮本委員)

(4) 緑の保全、ごみの抑制など自然環境 又は生活環境を向上させるために

【環境問題(3委員提案)】

- ・地球規模で考える温暖化対策としての環境対策(佐野委員)
- ・再開発に伴う環境(CO2削減)対策(鈴木委員)
- ・地球温暖化対策について(内藤委員)
- ・マイはし、マイボトル、マイバッグの取り組みについて(内藤委員)

【生活環境(1委員提案)】

- ・公園の遊具の増設、犬の飼い主のマナー、野良猫対策などについて(藤嶋委員)

(6) 文化又は観光の振興など まちの魅力を発信するために

【多摩川の活用(3委員提案)】

- ・中原区の魅力スポットの掘り下げ→観光のまちとしての多摩川の活用(鈴木委員)
- ・多摩川、等々力緑地等の有効活用(子ども達の健全な遊び場を確保する為の検討)(内藤委員)
- ・再開発に伴う文化施設と有効活用について(内藤委員)

(7) 地域住民組織活動、まちづくり活動 など市民自治を推進するために

【地域参加(1委員提案)】

- ・若い世代の地域活動参加について(本目委員)

【住民交流(1委員提案)】

- ・新住民との融合(鈴木委員)

【まちづくり(2委員提案)】

- ・古きを大切にし、新しい事も受け入れるまちづくり(大下委員)
- ・再開発地区の新住民とのまちづくり活動の自治を推進するために(村山委員)

(8) (1)～(7)以外の課題及び区 の地域特性に応じた課題など

【小杉駅周辺再開発(6委員提案)】

- ・小杉駅周辺の大規模マンションの入居に伴う人口の増加やまちの環境問題、マンションライフなど、課題の多様化によるニーズの把握について(佐野委員)
- ・再開発に伴う環境(CO2削減)対策(鈴木委員)
- ・再開発に伴う諸課題の検討と対策について(内藤委員)
- ・再開発に伴う文化施設と有効活用について(内藤委員)
- ・再開発地区の新住民とのまちづくり活動の自治を推進するために(村山委員)
- ・高層マンションにおける災害対策(横川委員)

【その他】

- ・第1期の課題解決のその後について(佐野委員)
- ・バリアフリーのまちづくり(鈴木委員、辻委員)
- ・環境教育、歴史教育の場としての中原区の位置づけ(鈴木委員)
- ・日本独自の「もったいない」を実践する生き方について(内藤委員)
- ・区役所の更なる無駄をなくす対策の検討(内藤委員)
- ・中原区の影(自殺問題、いじめ問題、犯罪等)の部分の再確認と対策について(内藤委員)
- ・全世代における仕事と生活の調和の推進についてできること(本目委員)
- ・ユニバーサルデザイン(富岡委員)
- ・就業者の育児休業(矢野委員)

(注1) 下線の項目は、分野が重複するため再掲をしています。

(注2) 斜体の項目は、平成20年度第1回の区民会議の発言で追加されたものです。

中原区区民会議では、会議で調査・審議する課題(検討テーマ)を、区民会議委員が日々の活動を通して検討する必要があると考えている課題、区役所が業務を通じて把握した課題、区民から寄せられた課題などの中から、緊急性や重要性を勘案して運営部会で選定しています。